

秩父：二子山

- ◆日程 2019年3月2日(土)
- ◆メンバー L：大山、今
- ◆天候 晴れ

西武秩父駅 9:20 発の西武バスで登山口を目指す。登山口の坂本までは直通便はなく、小鹿野役場で乗継が必要である。平日と土休で若干時刻表が異なるが、登山に最適なバス便は、ほぼ一往復しかない。

10:30 ほぼ定刻で坂本バス停に到着する。バス転回のためかバス停ではなく登山口への小道の入口で下車することができた。バス内で身支度をしていたので早速と登山口を目指す。しばらく狭い道を登って行くと目前に二子山の東岳が姿を現す。ここで、紛らわしいピンクリボンで道を外れるが、地図でルートを確認していると畑仕事をしていた地元の方が道を教えてくれた。入口からは沢沿いをまっすぐ二子山へ向かって登ればよい。途中、舗装路から沢沿いに降り、再び舗装路へ出るとほどなく登山口に到着する。登山口の近くにはトイレが設置されている。

登山道に入りしばらくすると涸沢に出るので、しばらくこの沢沿いを登る。落ち葉が溜まったザレ場のため歩きづらい道が続く。登山口から30分ほどで沢から尾根に取り付くがかなりの急登である。この尾根を詰めあがると股峠に到着する。股峠付近で東岳の南側壁が見えるが、数名のクライマーの姿が確認できた。股峠からまずは東岳を目指す。木の根が張り巡らされた更なる急登を登り岩場に取り付く。遠目からでは垂直な岸壁に見えていたが、岩が階段状になっており、手掛かり、足掛かりがしっかりしているので難しい箇所は少ない。ただし、北側にかかった鎖場とその上のロープは注意が必要である。最初の鎖場は金属のステップが設置されているが、その下は10m以上の崖で、かなり注意が必要である。また、その直後のロープ箇所も数メートルではあるが、ほぼ垂直に登る必要があり要注意である。これらを抜けると急な登りも終わり、尾根沿いを進めば東岳山頂に到着する。

東岳を後にし股峠に戻ったところで同じバスに乗車していた登山者に出会った。話を聞くと、西岳への上級ルートから引き返してきたとのこと。ほぼ垂直な壁を登り、落石もあったため引き返してきたようだ。我々もヘルメットを装備していなかったので、今回は一般ルートを進むことにした。東岳同様にしばらくは木の根が張り巡らされた急登を登り、岩場に取り付くと階段状の九十九折れの登山道を登る。一カ所ハングした岩をかわす鎖場があるが、ほどなく急登を終えて尾根上に出ることができる。尾根上を西へ進み二子山(西岳)山頂1,165.6mに立つことができた。



西岳から西に延びる岩尾根を伝い下山する。山頂から見るその尾根は、南北両側が切れ落ちたかなりの難所に見えるが、平らな足場があり、下降箇所でも手掛かりも見つけやすいので、危険箇所は少ない。唯一、岩場の終了点に5mほどの垂直下降があるが、鎖が設置されており、足場も見つけやすいので難なく降りることができた。岩場を離れ樹林帯を進む。ここでルートを見失った。ピンクリボンが多数見つけられるのだが、踏み跡が少ない。しばらくピンクリボンを見つげながら進んだが、下山方向にルートが見つからないので地図を確認すると股峠方向

へ延びるルートへ迷い込んでいた。方向を修正し下山ルートへ戻ると、斜度も緩やかな歩きやすいルートになり、時間を稼ぐことができた。30分ほどで一般道へ出て、わずかで登山口へ到着する。あとは、往路と逆に沢沿いを下れば坂本バス停に到着する。多少の道迷いはあったが、休憩時間を含めてコースタイム通りの山行であった。 (記：大山)

CT：坂本BS 10:37 - 股峠 11:46 - 東岳 12:19/12:46 - 股峠 13:08

- 二子山（西岳） 13:48 - 坂本BS 15:51